

TRIZ推進活動の成果と新展開 および適用事例

— いままでの活動結果からみえてきたこと —

'03年 09月 12日

富士ゼロックス株式会社
DPSC 研究開発センター
粕谷 茂
坂巻 克己

目次

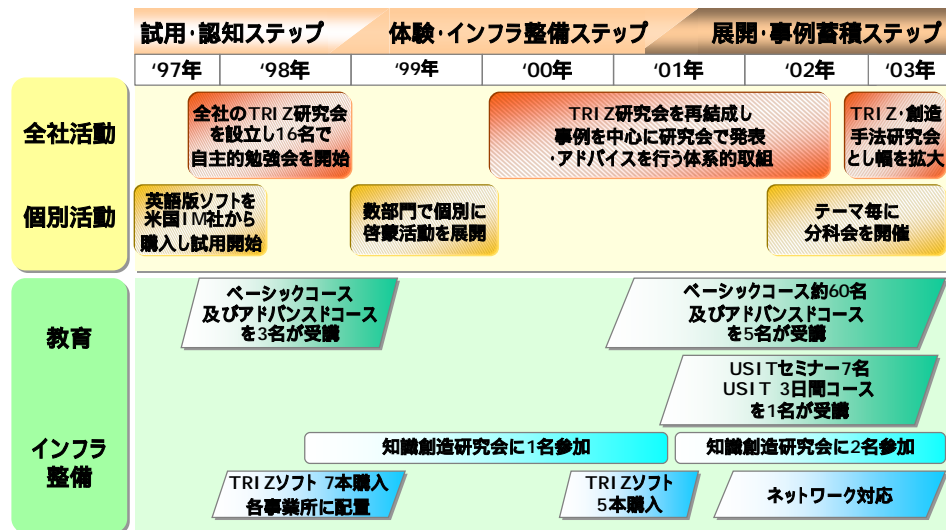
< 推進活動の概要と分析 >

1. 推進活動経緯
2. '03年度 推進活動の体系的取り組み
3. TRIZ適用業務プロセスの割合
4. TRIZ適用分野の割合
5. TRIZ適用時の活用手法の割合
6. 適用事例と成果に直結した活用手法のトレンド
7. 適用事例と成果のトレンド
8. 推進活動のまとめ

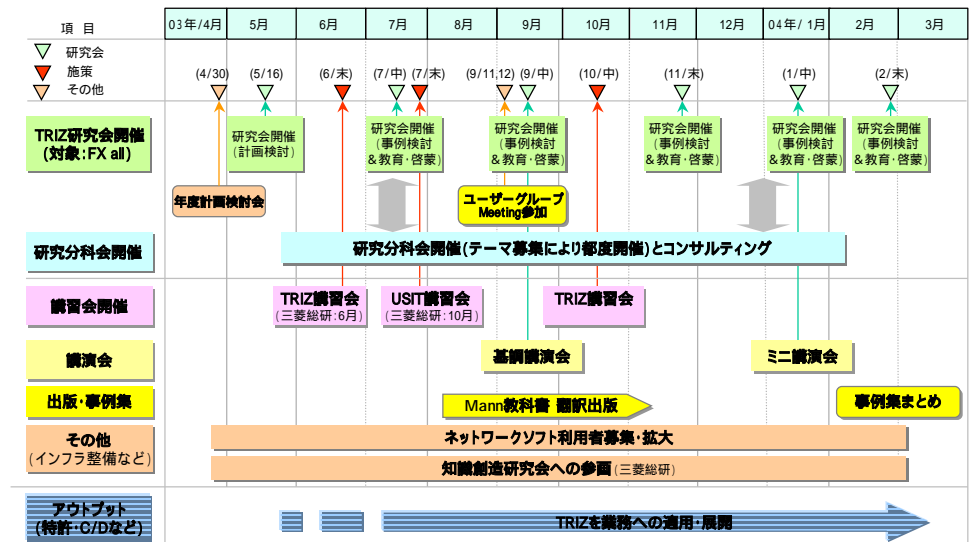
< 適用事例 >

1. 技術開発事例: ペーパーハンドリングへの適用事例1
2. 技術開発事例: ペーパーハンドリングへの適用事例2
3. マネジメント事例: TRIZの新しい手法を適用した事例

1. 推進活動経緯

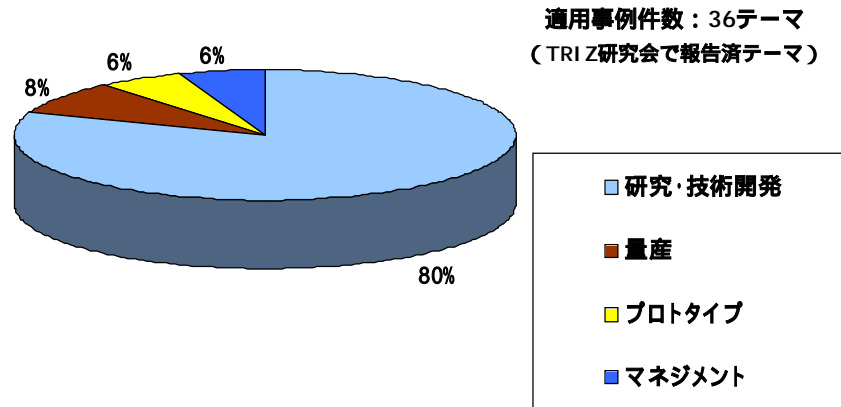


2. '03年度 推進活動の体系的取り組み



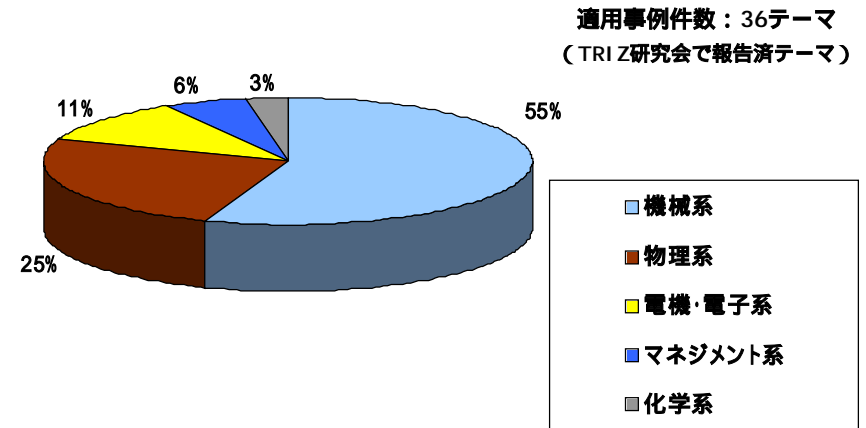
3. TRIZ適用業務プロセスの割合

- ✓ 研究開発部門が主体となって活用しているため、研究・技術開発のプロセスが必然的に多くなっている



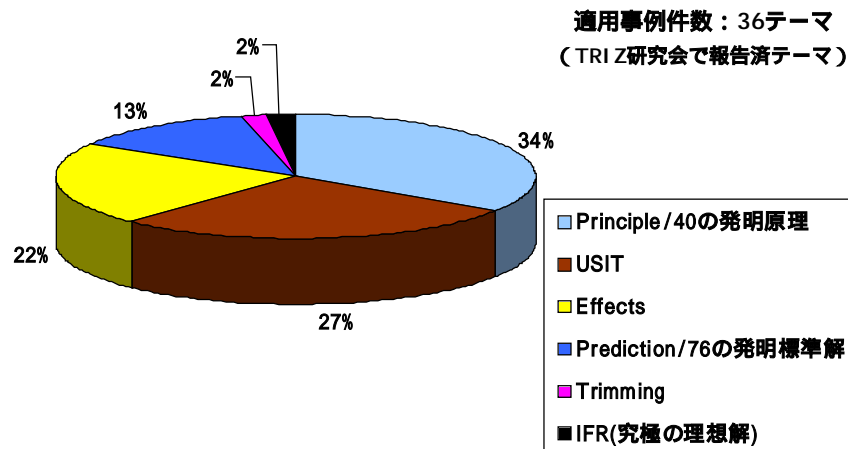
4. TRIZ適用分野の割合

- ✓ 当社の業種特性もあるが、機械・物理系テーマが圧倒的である
- ✓ 化学系、ソフトウェア系テーマについては非常に少ない



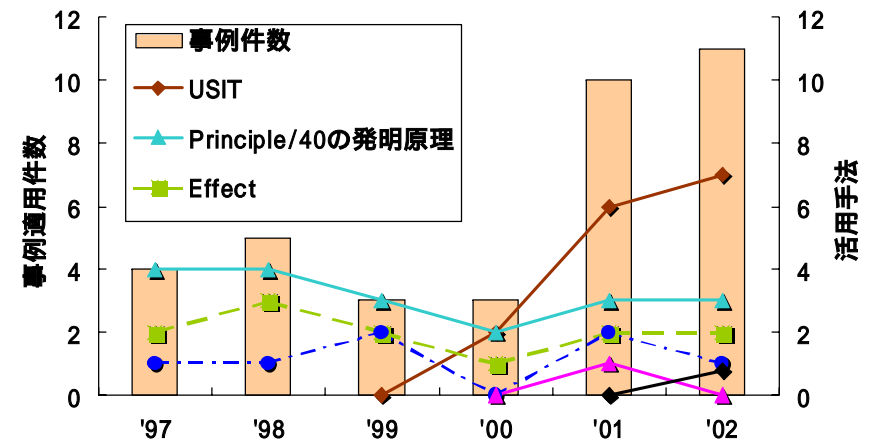
5. TRIZ適用時の活用手法の割合

- ✓ 累計適用事例における主な活用手法は、40の発明原理、USIT、Effects



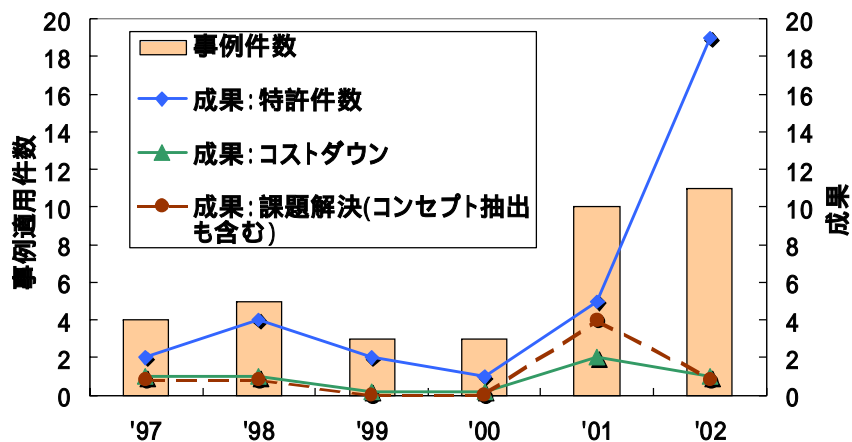
6. 適用事例と成果に直結した活用手法のトレンド

- ✓ TRIZ講習直後は、DBソフト(TOPE)依存の傾向であるが、TRIZの考え方が理解できるとUSIT活用に比重が移るようである



7. 適用事例と成果のトレンド

✓ 分科会によるコンサルティングおよびUSITの活用により成果が向上



8. 推進活動のまとめ

< 推進上の工夫のポイント >

- 主に、**枯れた技術や十分検討し尽くしたテーマ**に対し、TRIZを適用しoutputを創出し説得してきた
- 社内外の適用事例をデータベース化しweb閲覧を可能とした

< トレンド分析から言えること >

- 今後、**化学系、ソフトウェア系**テーマの適用事例サンプルを創出する必要がある
- 組織的に成果を出すためには、**コンサルティングおよびUSITの活用が有効**である
- TRIZの即効性のある効果や認知度を拡大するには、使用頻度が高くわかりやすいツール(40の発明原理、Effects、76の発明標準解など)で構成された安価な日本語版入門ソフトウェアや事例の豊富なテキストが望まれる